

2-1 地震の震度はどうなる？

地震は、『内陸型地震』と『海溝型地震』の2種類に分けられます。泉大津市では、どちらの地震も発生する可能性があります。それぞれの地震の特徴と震度を確認しましょう。

内陸型地震

活断層が原因で起きる地震

特徴

- ガタガタと短時間強く揺れる
(阪神・淡路大震災のような揺れ)

泉大津市に大きな影響を及ぼす地震

上町断層帯地震、中央構造線断層帯地震 等



上町断層帯地震 震度分布図

最大震度6強

30年以内の地震発生確率 2~3%
出典：地震調査研究推進本部
(平成26年1月15日公表)

凡例

強	震度6強
弱	震度6弱
弱	震度5強

0 2,000m
1:55,000

このマップは、大阪府の平成17年度地震被害想定調査の500mメッシュ震度データに基づいて想定された揺れやすさを示したもので、なお、臨海部の夕凪町(泉大津フェニックス)は、対象範囲外の結果です。

海溝型地震

海底のプレートが跳ね上がって起きる地震

特徴

- ゆっくり、大きく、長時間揺れる
- 数十年から数百年という短期間で、繰り返し発生
- まれにとてもなく大きな規模で発生
- 津波が発生

泉大津市に大きな影響を及ぼす地震

南海トラフで発生する地震 等



南海トラフ巨大地震 震度分布図

最大震度6弱

30年以内の地震発生確率 70%程度
出典：地震調査研究推進本部
(平成26年1月15日公表)

凡例

強	震度6強
弱	震度6弱
弱	震度5強

0 2,000m
1:55,000

このマップは、大阪府南海トラフ巨大地震被害想定(平成25年)を掲載しています。

震度と想定被害(震度階級表)

出典：気象庁・震度と揺れ等状況(概要)より



人は、立っている事が困難になります。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがあります。



人は、はなないと動くことができません。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが多くなります。



耐震性が低い木造住宅は、傾くものや倒れるものが多くなり、耐震性の高い木造住宅でも、まれに傾くことがあります。また耐震性の低い鉄筋コンクリート建物は、倒れるものが多くなります。

2-2 地震の倒壊危険度はどうなる？

倒壊危険度とは、地震による揺れにより全壊する建物の割合を表すものです。市の補助事業等も活用しながら、地震の揺れに備えましょう。

耐震化の重要性

阪神・淡路大震災では、直接被害者の約9割の方の死因が、建物や家具の倒壊による窒息死・圧死でした。中でも昭和56年以前に建てられた古い建物は、倒壊するおそれが高いことが分かっています。

焼死・熱傷死
10% その他 2%

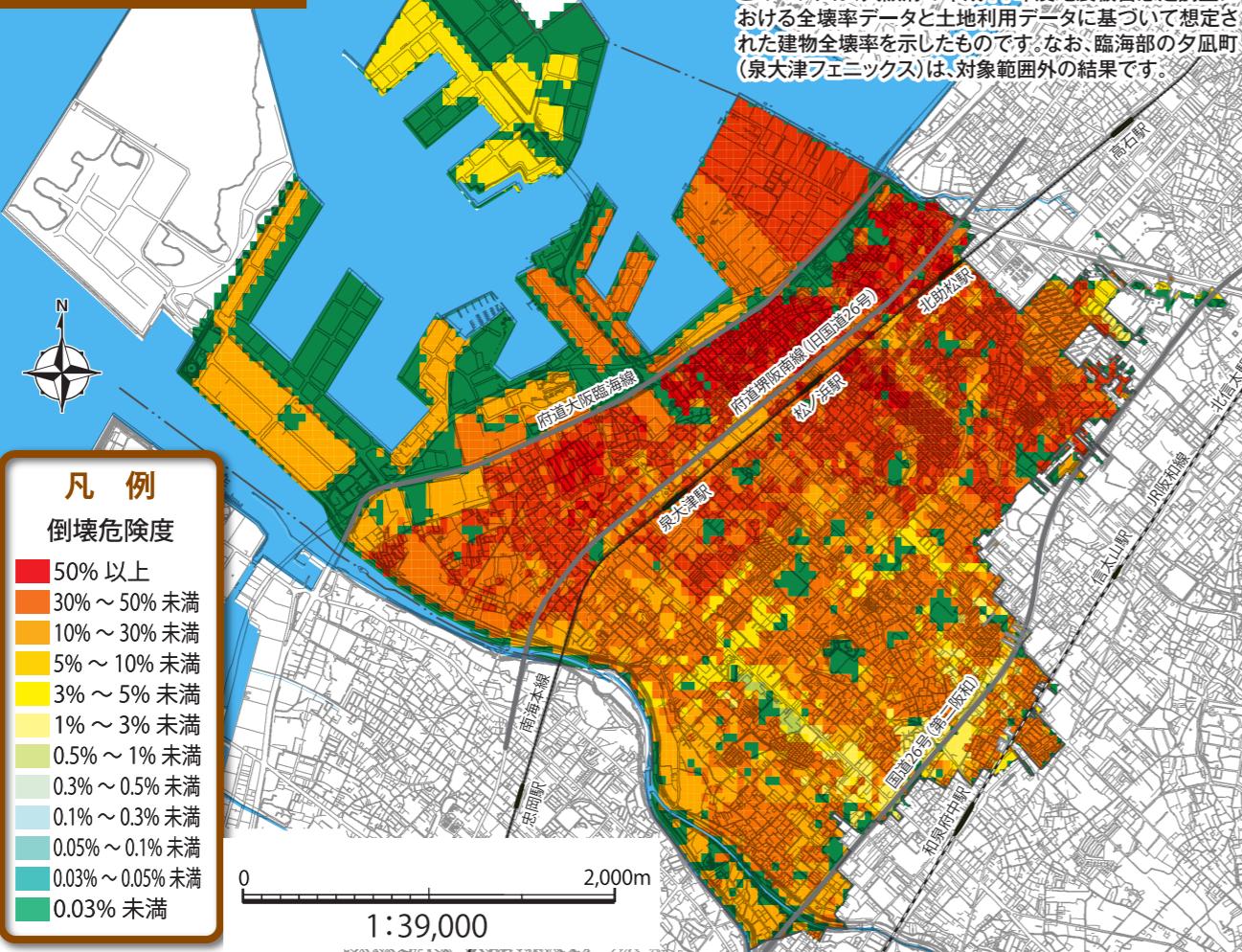


(出典：警察白書平成7年度)



出典：財団法人消防科学総合センター
阪神・淡路大震災 住家被害の様子

上町断層帯地震 倒壊危険度



補助事業を活用しよう

泉大津市では、地震に備え既存木造住宅の耐震診断と耐震設計、耐震改修に係る費用の一部を補助しています。補助には対象となる要件などがあります。詳しくは、まちづくり政策課建築住宅係までお問い合わせください。

とにかく！耐震診断

しっかり！耐震設計

あんしん！耐震補強

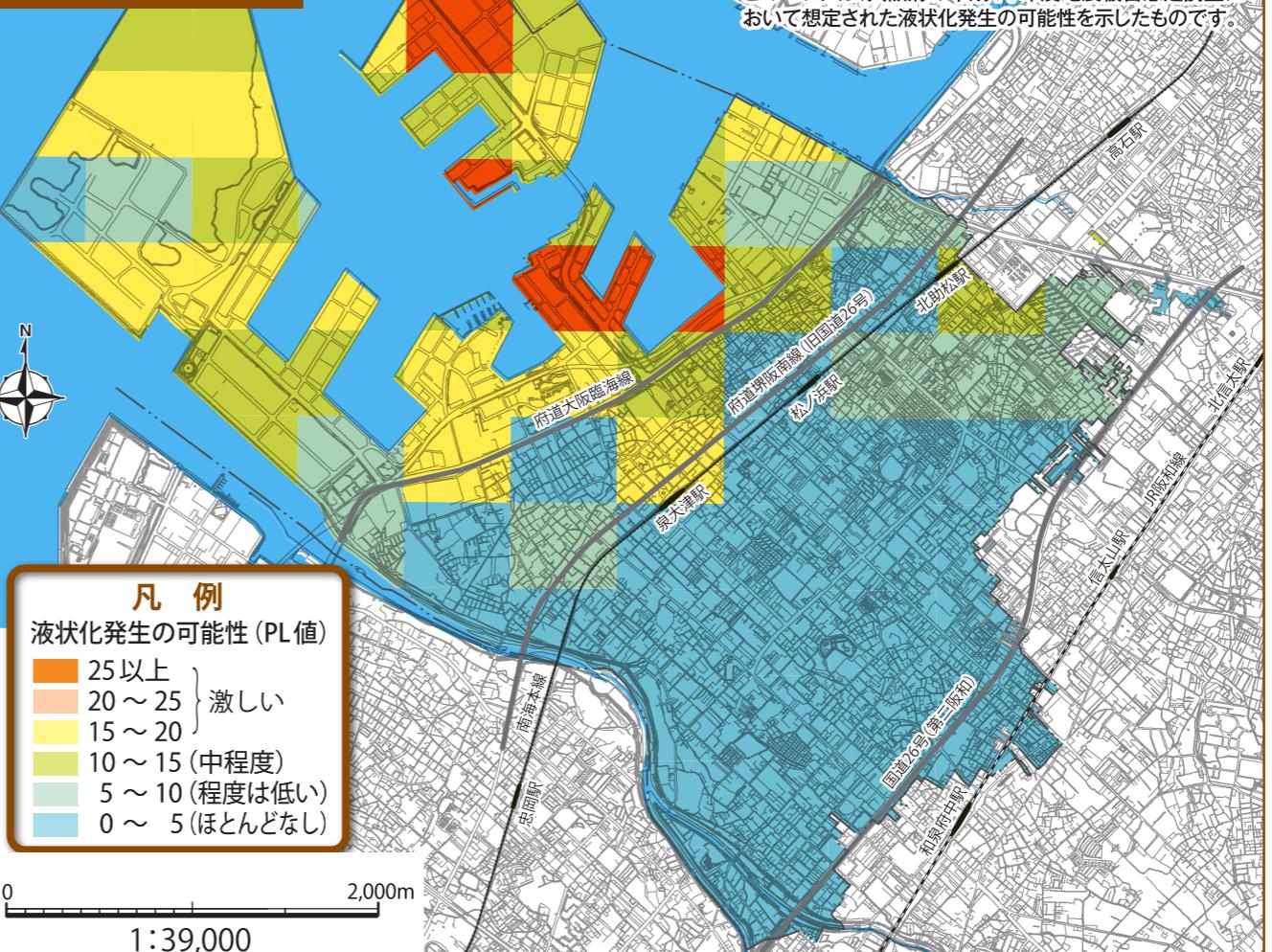


木造住宅耐震化工事の様子

2-3 液状化発生の可能性はどうなる？

このマップは、地震による揺れにより液状化発生の可能性があるかを示した地図です。

上町断層帯地震 液状化発生の可能性



PL値とは

PL値とは、液状化発生の可能性を表す指標です。PL値が大きいほど液状化発生の可能性が高く、液状化の程度も大きくなります。

液状化発生のメカニズム

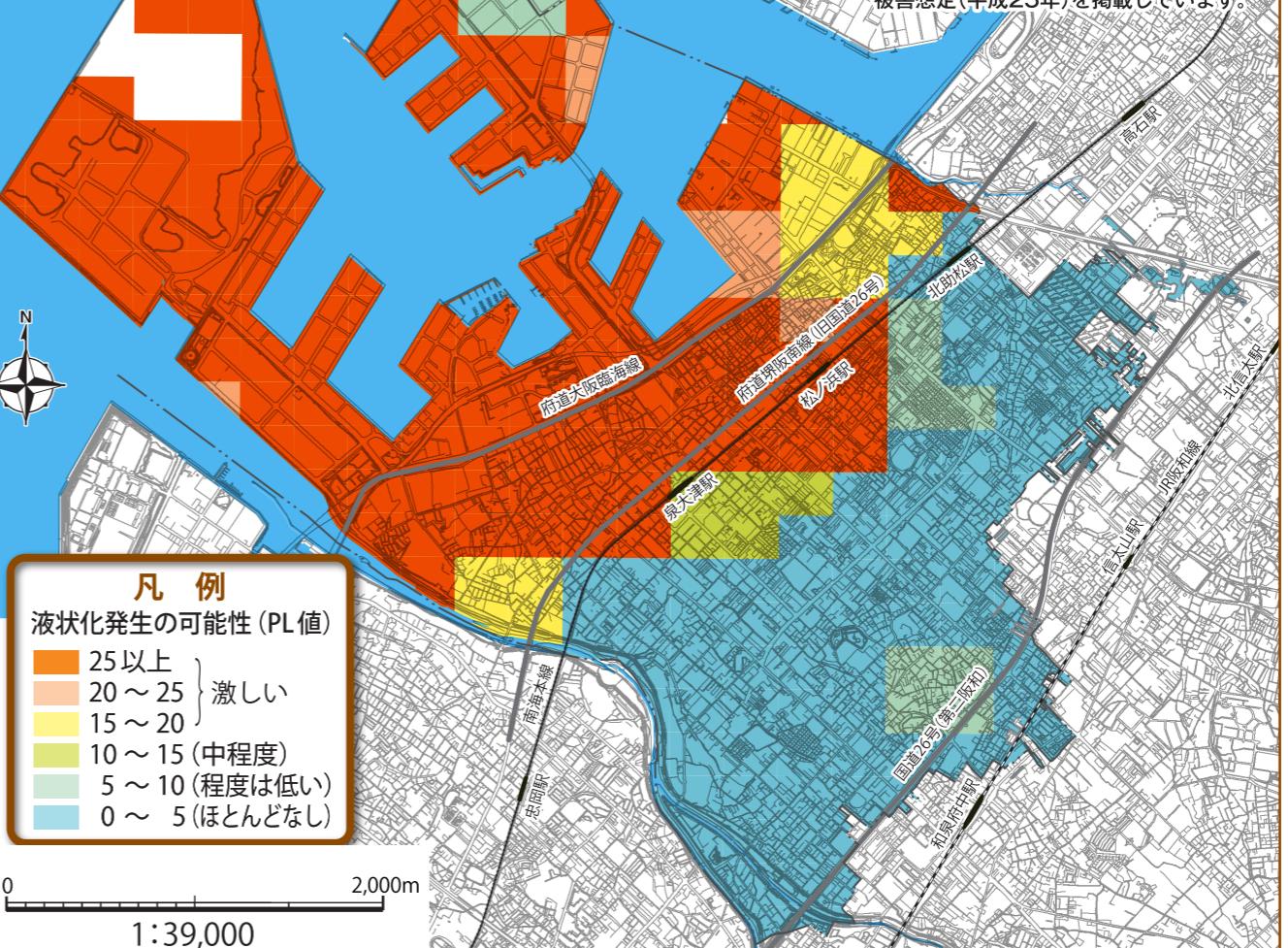
液状化とは、地下水位が高く、ゆるく堆積した砂地盤などが地震により激しく揺れるとき、土の粒子が水と混じり合って、一時的に地面が液体のようになることをいいます。

海岸や河川沿いに広がる低地部で液状化の可能性が大きくなると予想されます。



（出典：財団法人消防科学総合センター
東日本大震災 液状化により浮き上がったマンホール被害の様子）

南海トラフ巨大地震 倒壊危険度



地震前



地震時



地震後

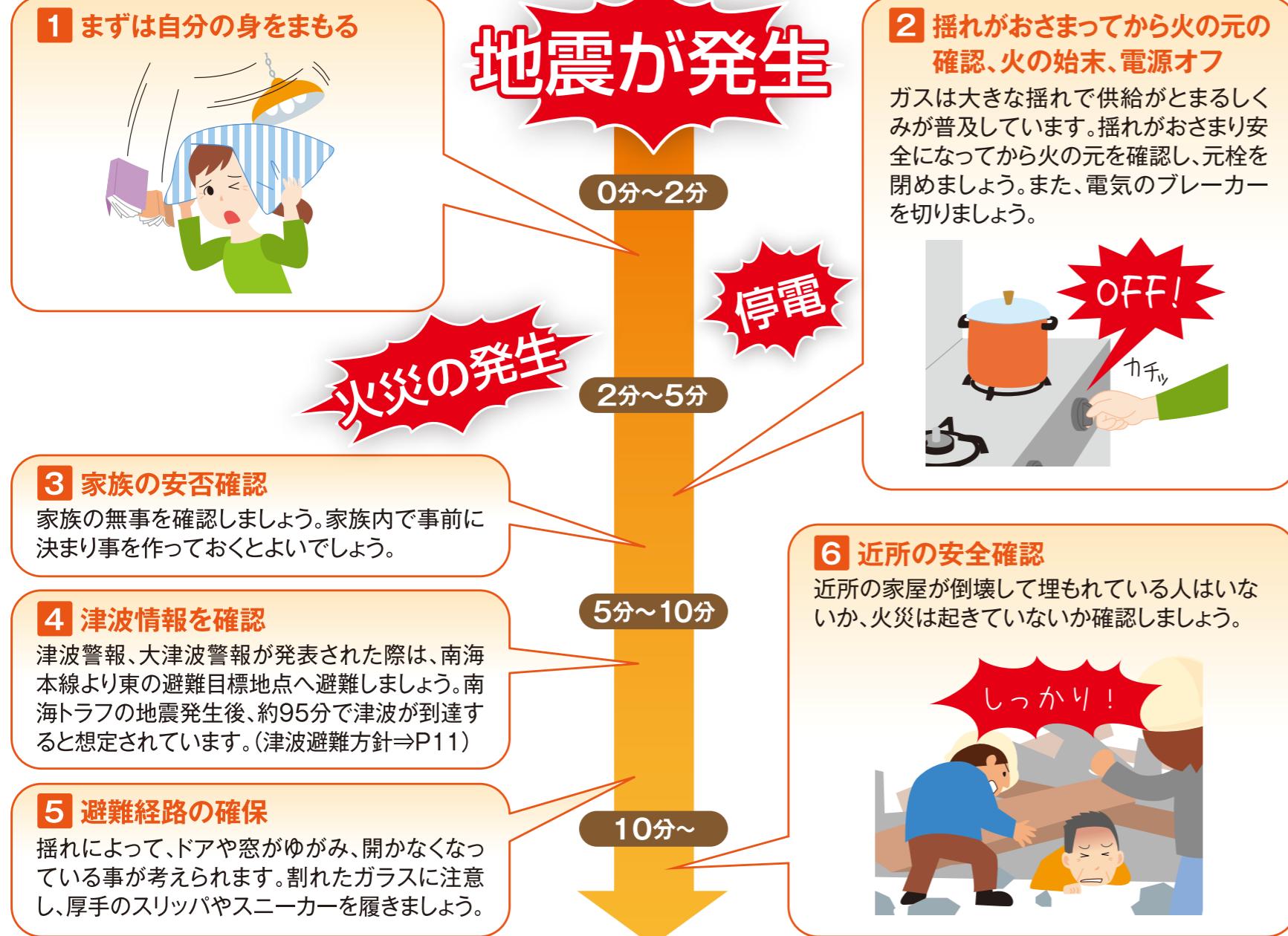


2-4 地震発生そのとき、こうする!

地震は、時間や場所を選ばず突然やってきます。いつどこにいても、慌てず落ち着いて行動しましょう。そのためには、日頃から地震が起きたときの行動をイメージしておくことが大切です。

地震発生時にとるべき行動ポイント

地震の発生は「もしも」ではなく、「いつも」あると考えましょう。



地震時の火災対策

火災は地震の被害をより大きします。出火の現場に居合わせたら、近所の方々と協力して、燃え広がる前に消火しましょう。ただし、そのために逃げ遅れでは大変です。初期消火の三原則を念頭に、あわてず冷静な判断を心がけましょう。

初期消火の三原則

- ① 早く知らせる
大きな声で近所に知らせる
- ② 早く消火する
火が天井に燃え広がらないうちに
- ③ 早く逃げる
火が天井にまわったら、すぐに脱出

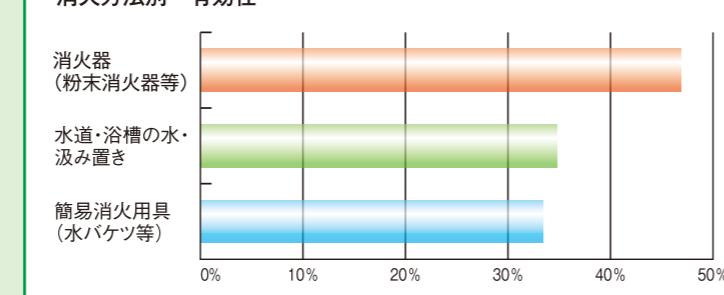


初期消火の有効性

阪神・淡路大震災では、火災285件のうち、146件で初期消火が行われ、そのうち58件が火災の鎮火に有効だったと言われています。

消火に用いられた物は、「消火器」が81件で最も多く、初期消火有効率も46.9%と高い値を示しています。

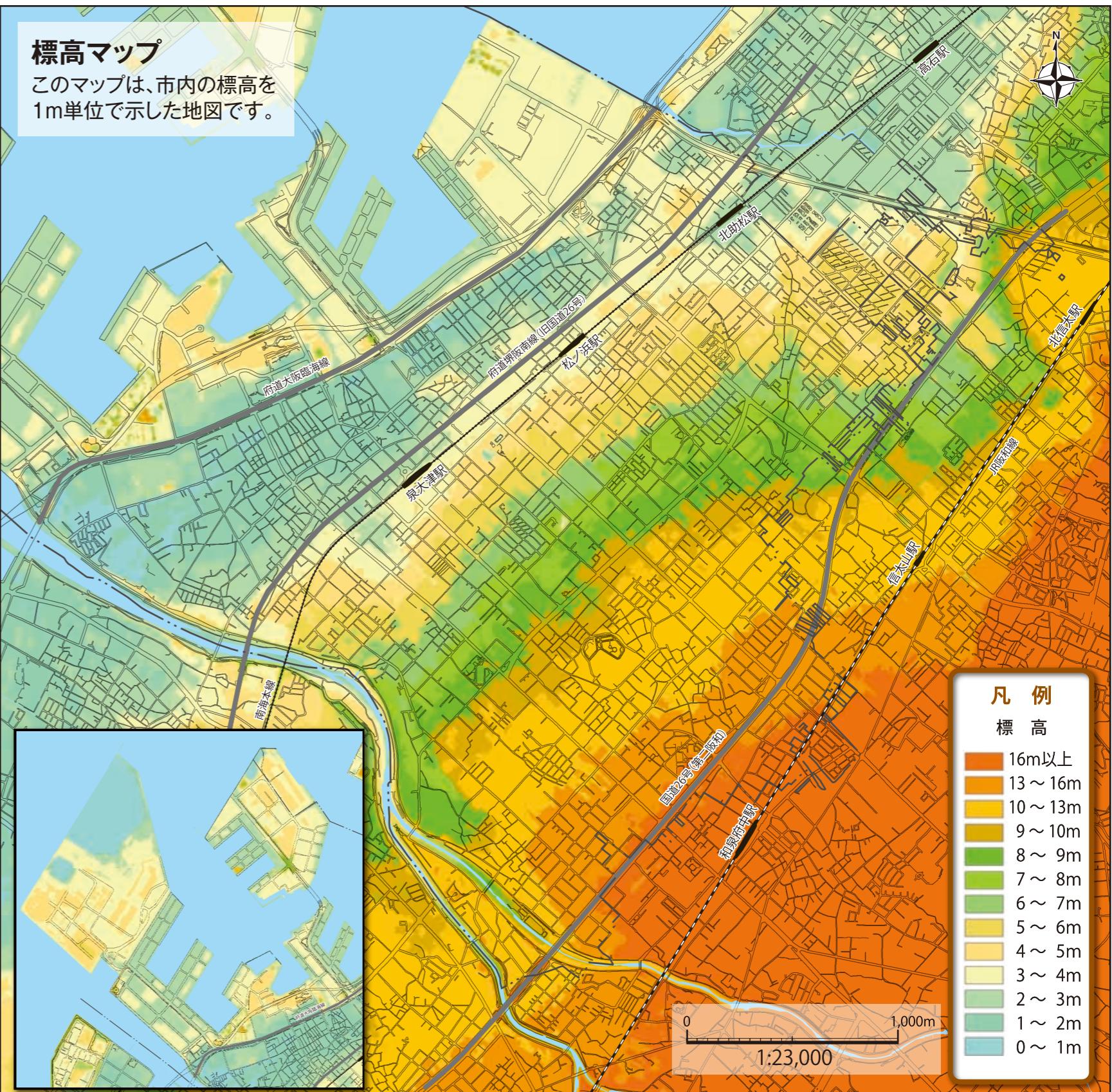
消火方法別 有効性



出典：地震時における出火防止対策のあり方に関する調査検討報告書について(消防庁)

2-5 津波から身を守るために

海溝型の地震が発生した場合は、津波の危険性があります。津波から身を守るためにには、より標高の高いところに避難することが重要です。標高マップで、お住まいの地域の標高を確認しましょう。



大津波警報・津波警報・津波注意報と想定被害

地震発生後、津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より大津波警報や津波警報、津波注意報が発表されます。

種類	予想される津波の高さ		想定される被害
	数値での発表	巨大地震の場合の表現	
大津波警報 (特別警報)	10m超(10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m(5m<高さ≤10m) 5m(3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m(1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m(0.2m≤高さ≤1m)	—	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し、小型船が転覆する。

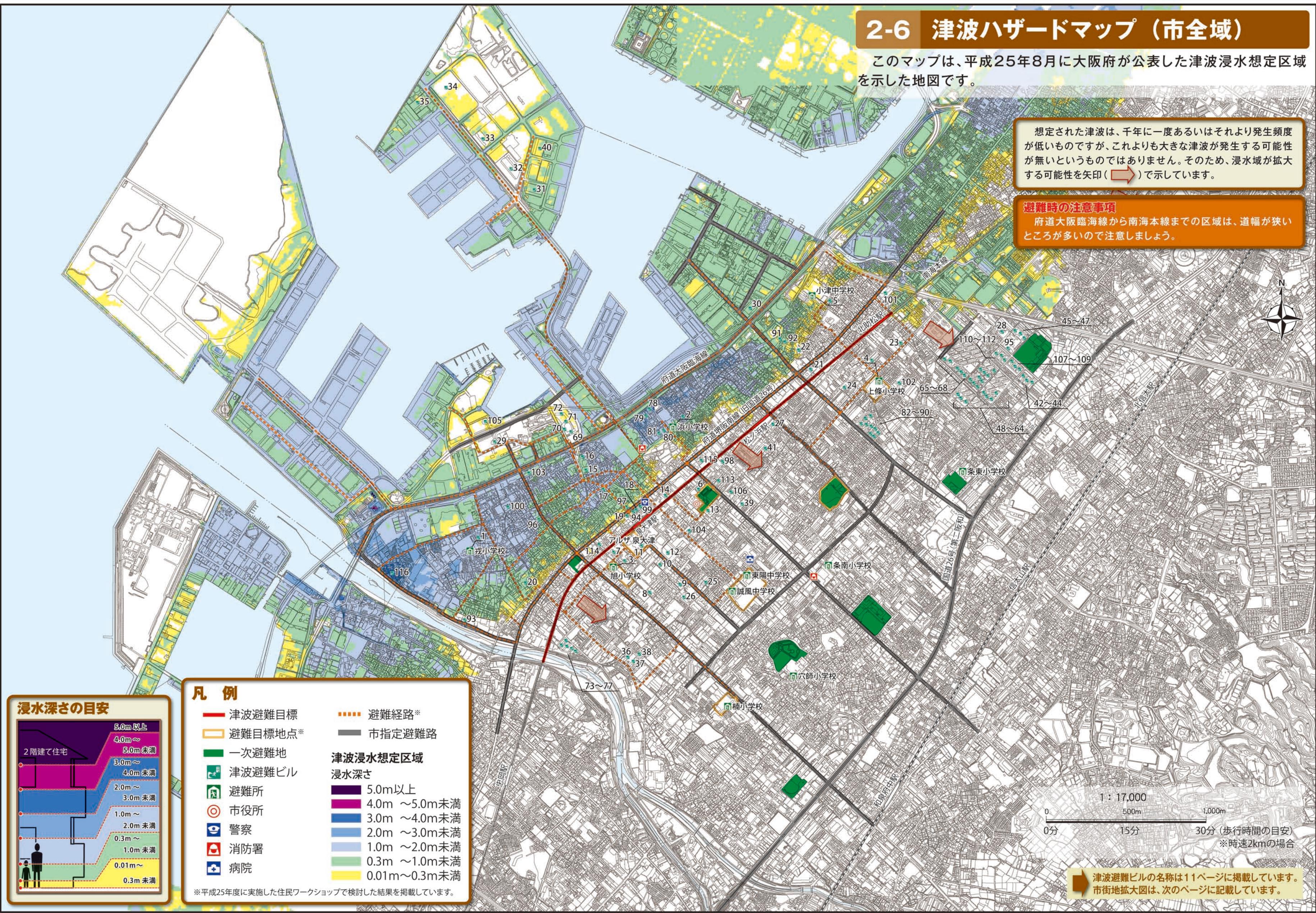
2-6 津波ハザードマップ（市全域）

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域を示した地図です。

想定された津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。そのため、浸水域が拡大する可能性を矢印(➡)で示しています。

避難時の注意事項

府道大阪臨海線から南海本線までの区域は、道幅が狭いところが多いので注意しましょう。

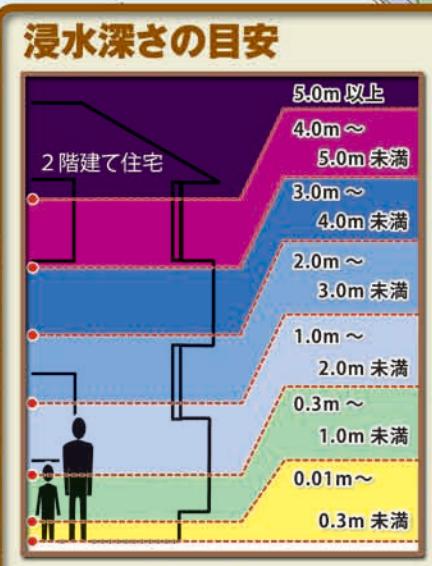


2-7 津波ハザードマップ（市街地拡大）

このマップは、平成25年8月に大阪府が公表した津波浸水想定区域を示した地図です。



想定された津波は、千年に一度あるいはそれより発生頻度が低いものですが、これよりも大きな津波が発生する可能性が無いというものではありません。そのため、浸水域が拡大する可能性を矢印(➡)で示しています。



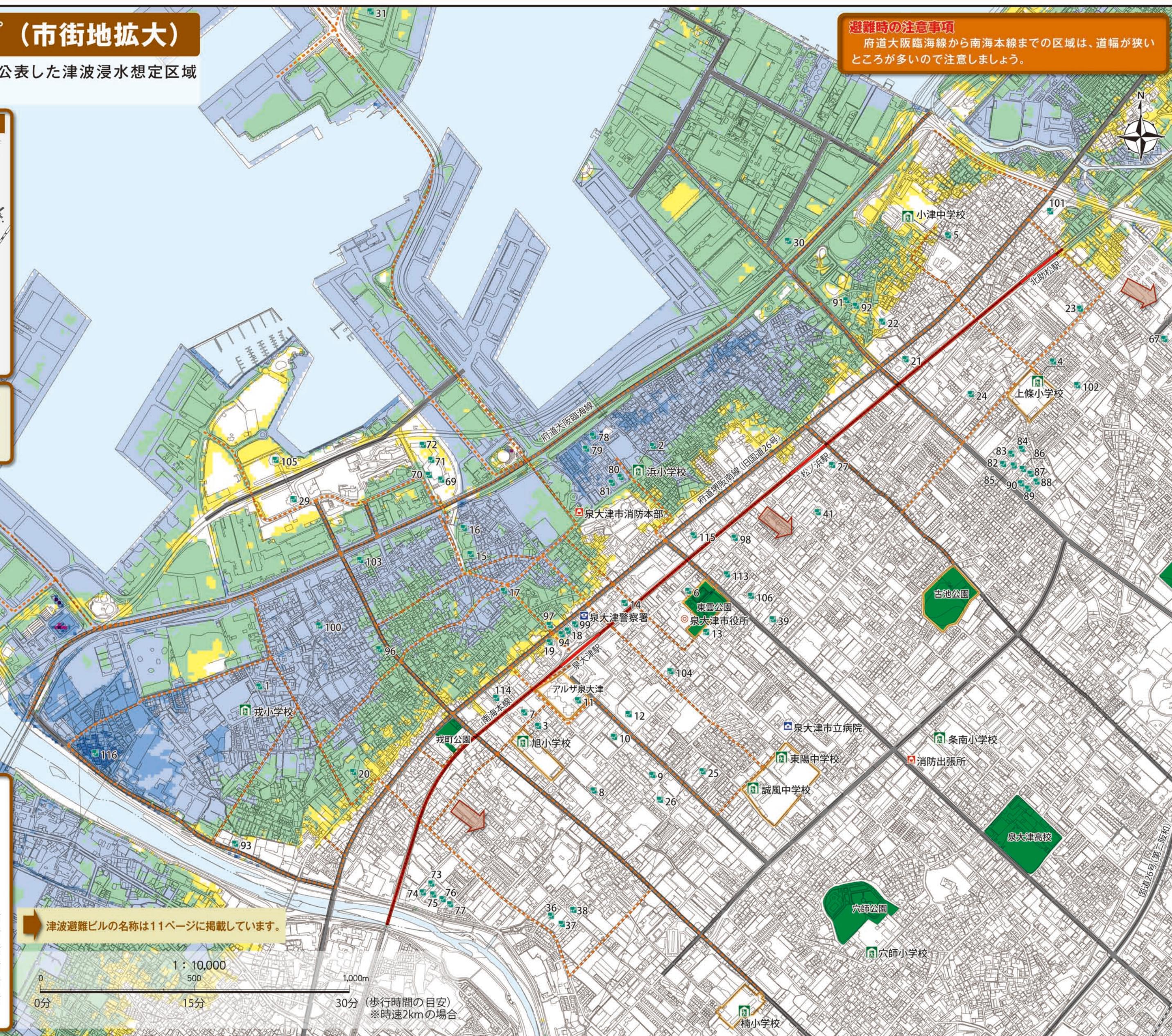
凡 例

- 津波避難目標
 - 避難経路*
 - 避難目標地点*
 - 市指定避難路
 - 一次避難地
 - 津波避難ビル
 - 避難所
 - 市役所
 - 警察
 - 消防署
 - 病院
- 津波浸水想定区域**
- 浸水深さ
- | 水深 | 範囲 |
|---------------|---------------|
| 5.0m以上 | 5.0m以上 |
| 4.0m ~ 5.0m未満 | 4.0m ~ 5.0m未満 |
| 3.0m ~ 4.0m未満 | 3.0m ~ 4.0m未満 |
| 2.0m ~ 3.0m未満 | 2.0m ~ 3.0m未満 |
| 1.0m ~ 2.0m未満 | 1.0m ~ 2.0m未満 |
| 0.3m ~ 1.0m未満 | 0.3m ~ 1.0m未満 |
| 0.01m~0.3m未満 | 0.01m~0.3m未満 |

*平成25年度に実施した住民ワークショップで検討した結果を掲載しています。

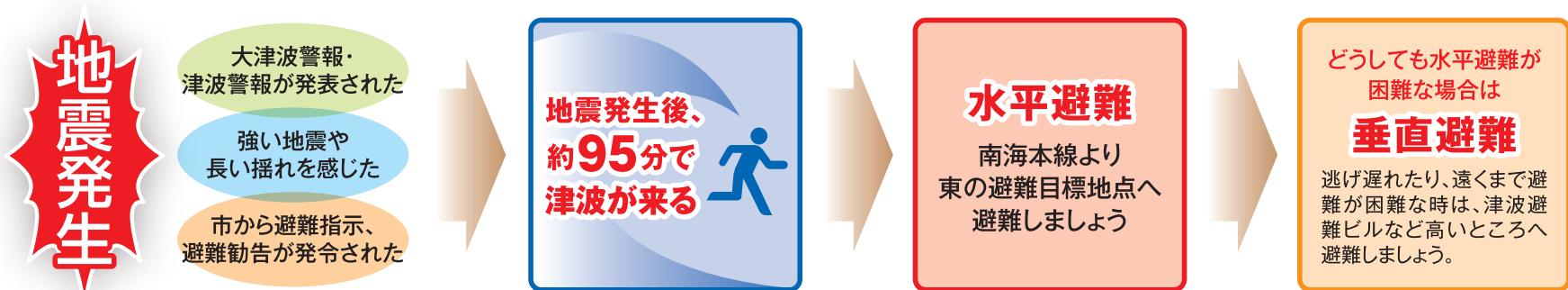
避難時の注意事項

府道大阪臨海線から南海本線までの区域は、道幅が狭いところが多いので注意しましょう。



2-8 津波避難の基本方針

南海トラフでの地震発生後、泉大津市に約95分で最大4.4mの津波が到達することが想定されています。身の安全を確保して、強く長い揺れを感じたらすぐに津波の情報を確認し、**南海本線より東の避難目標地点へ避難**しましょう。



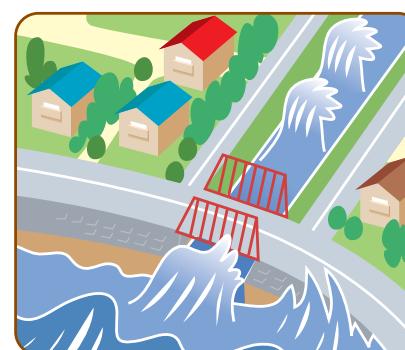
津波避難時の心得



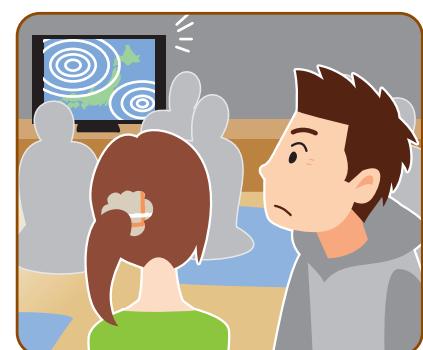
地域での協力が大切！



避難は徒歩で！



海岸や川には近づかない！



独自の判断で戻らない！

避難が困難な場合は～垂直避難～

警報の発令を知るのが遅れたときや避難が困難なときなど、十分な時間が確保できない場合は、近くの津波避難ビルへ避難しましょう。津波避難ビルには、入口付近に右のような看板を設置しています。

※津波避難ビルとは、津波浸水想定区域等の臨海部及び内陸部にある鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造で新耐震基準(昭和56年施行)に適している建物です。



津波避難ビル一覧(平成26年2月末現在)					
No	施設名	No	施設名	No	施設名
1	戎小学校	24	シルフィード東助松	82~90	府営泉大津東助松住宅(1~9号棟)
2	浜小学校	25	株式会社Kスカイ池浦寮	91~92	府営泉大津助松住宅(1、2号棟)
3	旭小学校	26	ディオ・フェルティ泉大津	93	ユニライフ泉大津
4	上條小学校	27	あすと松之浜	94	ディークラディア泉大津
5	小津中学校	28	リーデンススクエア泉大津	95	北助松第3次住宅(10号棟)
6	総合福祉センター	29	ホテルサンルート関空	96	ユニライフ泉大津ライクシーガル
7	ルピナス泉大津	30	丸全昭和運輸(株)泉北倉庫営業所	97	ハイネスクラウズ泉大津駅前
8	エフォールナガイ	31	大阪泉大津花き地方卸売市場	98	シャルマンフジ泉大津
9	ポルト泉大津	32	(株)大都国際複合物流センター	99	ユニライフ泉大津駅前
10	エルグランデOZU	33	藤浪倉庫(株)泉北支店	100	タイムス泉大津
11	アルザ泉大津	34	センコー(株)南大阪支店泉北PDセンター第2係	101	エクセラート北助松
12	テクスピア大阪	35	センコー(株)南大阪支店泉北PDセンター第1係	102	助松パーク・ホームズ
13	パルテール東雲	36~38	さつき団地(1~3号棟)	103	ルモン泉大津
14	シャリエ泉大津	39	ネバーランド泉大津シエスト	104	グラン・コート泉大津
15	ルミエールフカキⅡ	40	(株)日新助松埠頭倉庫	105	堺泉北港ポートサービスセンタービル
16	ルミエールフカキ	41	ミム松之浜	106	シャルマンフジロイアルクレセント泉大津東雲公園
17	エンデバー泉大津	42~44	北助松第1次住宅(1~3号棟)	107~112	北助松第2次住宅(4~9号棟)
18	アムール・M	45~47	北助松第4次団地(11~13号棟)	113	シャルマンフジ泉大津東雲公園
19	ローズステージ泉大津駅前	48~64	助松団地(7、9、11、28~34、37~41、100、101号棟)	114	ルネ泉大津ロイヤルコート
20	フェルティ・パーク泉大津	65~68	助松団地(16、17、23、24号棟)	115	ジュネス泉大津アレグロ
21	エクセラート松ノ浜	69~72	府営泉大津なぎさ住宅(1~4号棟)	116	河原町市営住宅
22	シャルマンコーポ松之浜	73~77	府営泉大津式内住宅(1~5号棟)		
23	ジョイフルハイツ泉大津	78~81	泉大津小松住宅(1~4号棟)		

津波ハザードマップには、津波避難ビルをマーク及び番号で記載しています。